

骨盤臓器脱（POP）の治療

トイレが近い・尿を出しづらい・残尿感・尿漏れ・便秘・下垂感などといった症状はありませんか？それは、もしかすると「骨盤臓器脱」によるものかもしれません。出産時に損傷した骨盤底筋群と呼ばれる筋膜や靭帯が、加齢に伴ってゆるみ、腔壁と一緒に膀胱や子宮・直腸などが下がってしまうことでそれらが生じることがあります。中高年の女性、特に出産経験がある方なら誰にでもこのような症状が起きる可能性があるのです。

今回は、この「骨盤臓器脱」について、産科・婦人科 診療科長 西洋孝 医師が詳しく解説をいたします。

皆さまの QOL (Quality of life : 生活の質) の向上に、お役立てください。

■日時：平成30年3月16日（金）

開場 17:00

開演 17:30 ~

閉演 18:30（予定）

■会場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

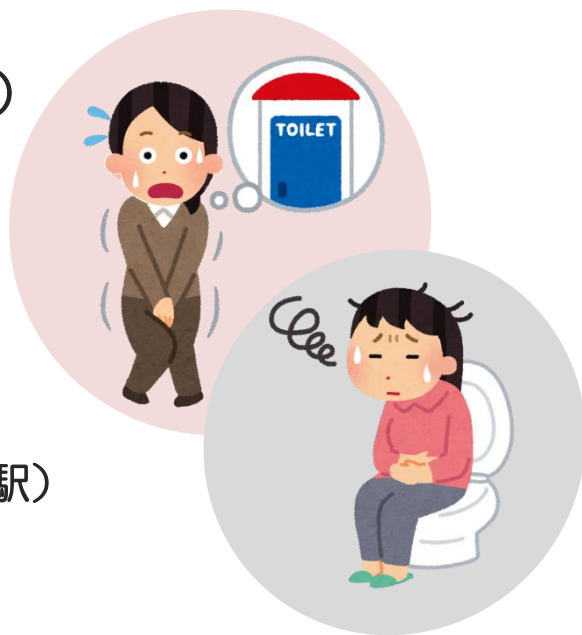
（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入場料：無料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。



共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専